

ゴールデンウィークが明けましたね。新型コロナウイルス感染症の不安が色濃い連休となつてしまいましたが、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。リフレッシュできたでしょうか。

新学期が始まって、1ヶ月が経ちました。緊張がほどけて疲れの出る頃です。そして、5月病と言われるように、心もなんとなく「だるい・めんどろ・おっくろ」になりがちです。3年生は、いよいよ待ちに待った中学校最大イベントの10泊11日の修学旅行も控えています。心も体も調整をしていきましょう。



健康診断が始まっています！



4月からスタートした健康診断ですが、終了した健診から、結果をお知らせをしています。7日現在、視力検査結果、尿検査、眼科の結果を渡しています。(すべて要受診者のみ)5月は、歯科、内科、耳鼻科の結果を配付する予定です。(延期している心電図検査、尿検査2次の結果の配付日は未定です。)

特に、眼科・耳鼻科健診で、「要受診」と通知した人は、専門診療期間中(眼科・耳鼻科の診療所の専門診療日が限られています)に、必ず受診をお願いいたします。混雑が予想されますので、早めの受診をお願いします。病院受診後は学校に「治療証明書(結果のお知らせ)」を提出してください。

5月保健行事

- 10日(火) 食育講話
- 17日(火) 内科健診(PM)
- 19日(木) AED 講習(生徒)、お弁当の日
- 24日(火) 耳鼻科健診(AM)



5月の補食内容

- 11日(水) ヨーグルト
- 18日(水) ヨーグルト飲料

眼科健診欠席者の対応について

4月28日に実施した眼科健診を欠席した生徒は、村の学校の欠席人数が多かったことから、今回の眼科専門診療ではなく、秋の専門診療にて健診を受けていただくことになりました。

日程など詳細が決まり次第、お知らせします。ご理解とご協力をお願いいたします。

~5月の保健目標~

病気を早期治療し、
健康な体を作ろう！

マスクを正しく使おう！

マスクは、布やウレタンよりも、不織布の方が効果が高いことが示されています。すき間のないよう顔にフィットさせ、正しく使用することが大切です。

マスク着用の主な目的は、会話や咳による飛沫の飛散や吸い込みを防ぐことです。飛沫を出す側と吸い込む側、両者の距離感やマスクの着用状況、マスクの素材(性能)によっても、防御効果に大きな違いが生まれることが、近年の研究で示されています。

また、布マスクやウレタンマスクは、繰り返し使える分正しく消毒ができていないと、逆効果になってしまうこともあります。

感染拡大を防ぐために、手洗い・うがいや三密を避けるとともに、マスクの正しい着用を徹底しましょう。



① 鼻の形に合わせてすき間をふさぐ

② あご下まで伸ばし顔にすき間なくフィットさせる

会話時は必ず着用！

- ・鼻出しマスク× あごマスク×
- ・着けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱
- ・品質の確かな、できれば不織布を

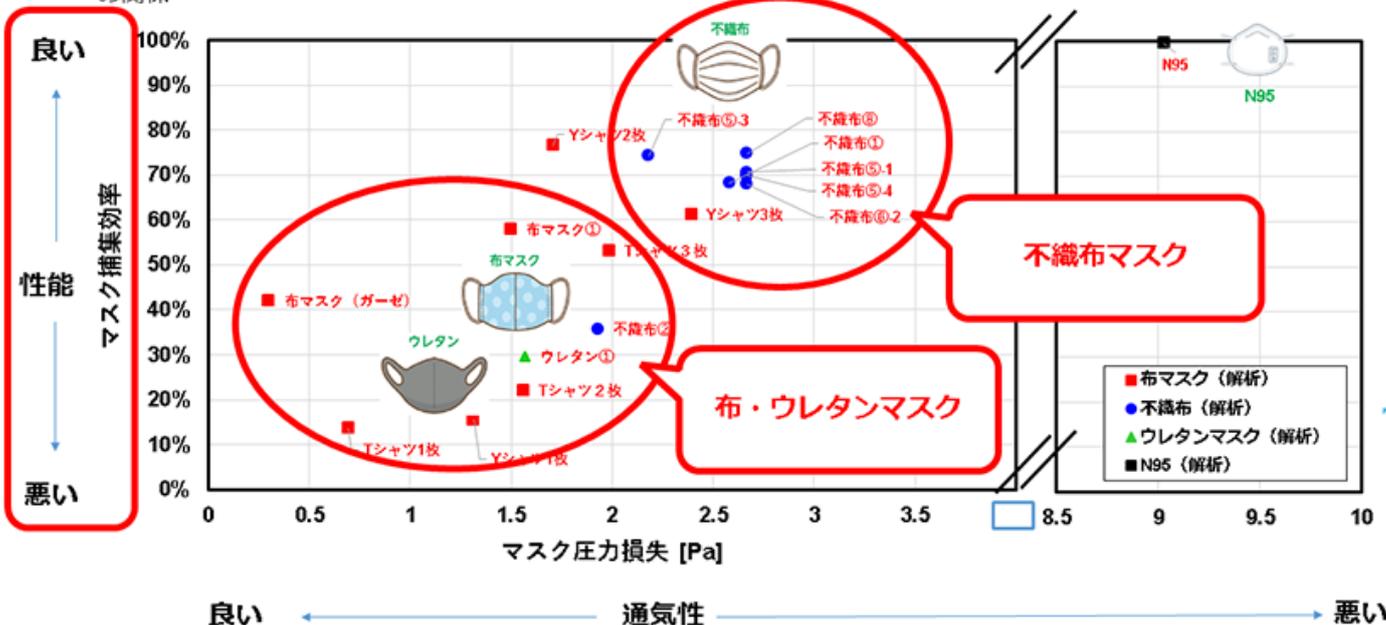


マスクによる感染予防について



マスク装着時の実効性能について

- ・マスク装着時の通気性能（実際にマスクを装着した際の性能）とマスク捕集性能（実際にマスクを装着した際の性能）の関係



提供：理研・豊橋技科大・神戸大、協力：京工繊大・阪大・大王製紙